

# 『ぱんだより』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。  
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第29号(2009年4月23日)「中国市場動向2009年3月」



## 3月の輸出入

3月の貿易統計によると、輸出は、前年同月比－17.1%で5ヶ月連続のマイナスとなりました。しかしながら、衣類など一部の製品が増加し、減少率としては、2009年2月の－25.7%（1980年代以降最大のマイナス）より縮小しました。

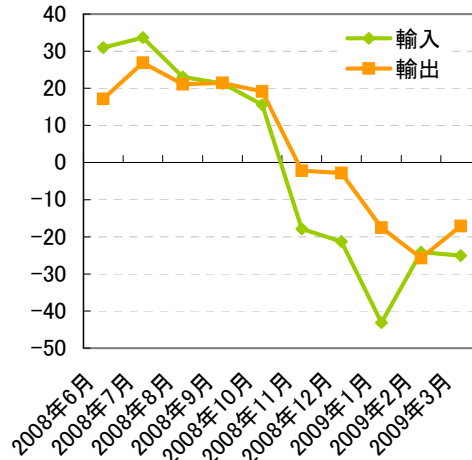
一方の輸入は大幅な落ち込みが続いており、国内の生産活動については冴えない状況となっております。3月は前年同月比－25.1%となり、特に原材料や部品の輸入が減ったことで、前月の下落幅よりも大きくなりました。3月の輸出を品目別にみると、家電など電気製品が1.8%減るなど全般に不振が続きましたが、一部の労働集約型製品が増加に転じています。衣類が9.9%増、靴類が7.7%の増加となります。米国や欧州はこうした製品の生産を短期間で回復できないため、輸入に頼らざるを得ず、中国は労働集約型製品の輸出を拡大する余地があるとの見方もあります。

## PMIの推移

3月の製造業購買担当者景気指数(PMI)は52.4となりました。11月を底に4ヶ月連続で上昇し、景気の拡大と縮小の分かれ目である50を6ヶ月ぶりに回復しました。PMIを構成する各指数を見ると、製品在庫指数が前年同月比1.0ポイント低下しましたが、その他指数は平均3ポイント上昇しました。

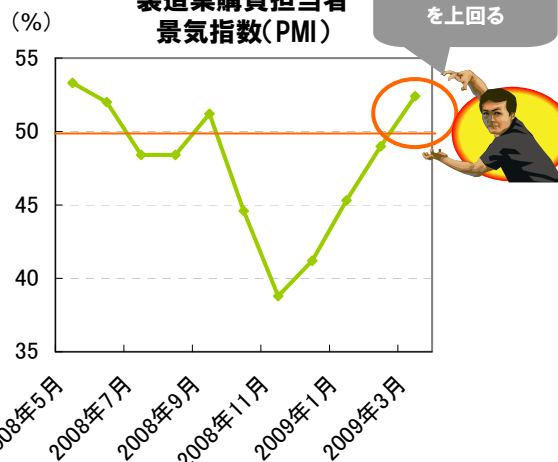
景気刺激策の本格的な始動で、原材料や部品の購入意欲を強め、製造業の生産が徐々に回復していると見られています。これにより輸入の大幅な落ち込みに歯止めがかかるとの観測も出ています。

(%) 中国の輸出入(前年同月比)



出所: Bloomberg、2009年4月現在

製造業購買担当者  
景気指数(PMI)



出所: Bloomberg、2009年4月現在



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



## 不動産価格下げ止まるが・・・

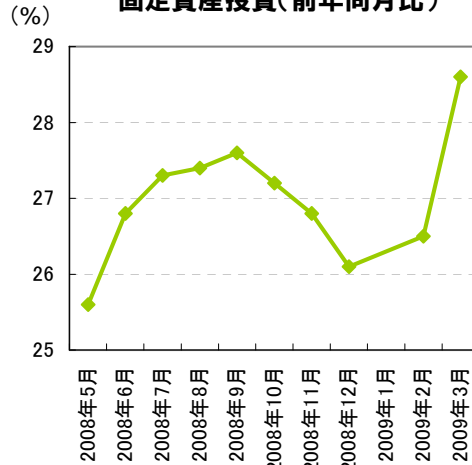
中国では固定資産投資の2-3割を不動産関連が占めるため、投資の急減で景気にも悪影響を及ぼすことから、政府は不動産市況のテコ入れに躍起になっています。

2008年秋からの金融緩和の影響もあり、中国の不動産市況に下げ止まりの兆しが出始め不動産価格も8ヶ月ぶりにプラスに転じています。

その影響を受けて固定資産投資が2008年末より上昇してきています。

しかしながら一方では、「不動産価格は下げ止まったが実需の買いはあまり入っていない。」との見方があります。政府による銀行貸出の指導などプラスの面もありますが、不動産市況が実需を伴った本格的な回復に向かうにはまだ少し時間がかかるのかも知れません。

固定資産投資(前年同月比)



出所: Bloomberg, 2009年4月現在

## 1人当たりGDP初の3000ドル突破

中国の1人当たり国内総生産(GDP)が2008年に3,266ドル(約32万1,000円)となり、初めて3,000ドル台を突破しました。これは国民の所得水準が一定レベルに達したことを意味し、中国国家統計局では、産業構造や消費形態が変化し中国経済と社会は発展の新段階に入ると分析しています。しかしながら、依然として貧富の格差が大きいことが課題となっているため、「家電下郷」などのプロジェクト効果によって更なる上昇が期待されます。

## 《主要株価推移》(各市場の直近1年間)



出所: Bloomberg

(見に行っちゃいな)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。